

東北大学 災害科学国際研究所
- 第 87 回 IRIDeS オープンフォーラム-
2023 年度 災害レジリエンス共創研究報告会

災害レジリエンス共創センターでは、「災害レジリエンス数量化」、「ヒューマンレジリエンス」、「災害情報キュレーション」、「災害レジリエンス共創」の4つの重点研究領域を構成し研究を推進しています。現在、構築を進めている「災害デジタルツイン」での災害過程の分析を通じて、被災した社会が速やかに回復するための方策や、一人ひとりの多様な幸せ（well-being）を実現するための研究に取り組んでいます。

今年で3年目を迎える「災害レジリエンス共創研究プロジェクト」では、災害科学国際研究所と学内外の研究機関が連携し、活発な共同研究を展開しています。本会では、昨年度（2023年度）に実施された共創研究の成果と、NTTとの共同ビジョン共有型共同研究の成果について報告いたします。

1. 日時：2024年7月26日（金）9：30 ～ 17：00

2. 会場（オンライン）Web会議場 [Zoom]

ホール A：ホール A_2023 年度災害レジリエンス共創研究報告会

URL： ウェブページよりお申込みの方へ別途連絡いたします。

ホール B：ホール B_2023 年度災害レジリエンス共創研究報告会

URL： ウェブページよりお申込みの方へ別途連絡いたします。

3. プログラム

| | |
|-------------|---------------------------------------|
| 9:20 | 開場 |
| 9:30-09:40 | 開会の挨拶（センター長：江川 新一 ホール A） |
| 9:40-12:30 | [共同研究] 口頭発表（午前の部 ホール A：8 件、ホール B：4 件） |
| 12:30-13:30 | 昼休憩 |
| 13:30-16:50 | [共同研究]口頭発表（午後の部 ホール A：9 件、ホール B：7 件） |
| 16:50-17:00 | 閉会の挨拶（所長：栗山 進一 ホール A） |

東北大学災害科学国際研究所 2023年度災害レジリエンス共創研究報告会

ホールA

Zoom会場A

1人あたり20分（発表 13分，質疑応答5分，準備2分）

| セッションA：午前（1） | | | 災害デジタルツインの開発に関連する研究 | | 司会者：齋藤 玲（認知科学研究分野/情報科学研究科） | | |
|--------------|-------|-------|--------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|--|--|
| ID | 時間帯 | 発表課題名 | 発表者（所属先） | 所内共同研究者（分野） | | | |
| A-1 | 9:40 | 10:00 | 日本海溝型地震に伴う津波のリアルタイムリスク評価 | 高瀬 慎介（八戸工業大学 大学院工学研究科） | 越村 俊一（災害ジオインフォマティクス） | | |
| A-2 | 10:00 | 10:20 | 災害デジタルツインにおけるデジタルデータ・アーカイブシステムの設計と試作 | 近貞 直孝（防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門） | 越村 俊一（災害ジオインフォマティクス） | | |
| A-3 | 10:20 | 10:40 | 災害デジタルツインのための人口暴論把握と予測アルゴリズムの開発 | マス エリック（東北大学 災害科学国際研究所） | 越村 俊一（災害ジオインフォマティクス） | | |
| A-4 | 10:40 | 11:00 | GPSデータとモバイル空間統計に基づく個人レベルの合成人流データの構築 | 永田 彰平（東北大学 災害科学国際研究所） | 越村 俊一（災害ジオインフォマティクス） | | |

11:00 11:10 休憩

| セッションA：午前（2） | | | 災害レジリエンス数量化研究領域 | | 司会者：乗松 君衣（都市直下地震災害 寄附研究部門） | | |
|--------------|-------|-------|---|-------------------------------|----------------------------|--|--|
| ID | 時間帯 | 発表課題名 | 発表者（所属先） | 所内共同研究者（分野） | | | |
| A-5 | 11:10 | 11:30 | 道路ネットワークのレジリエンス強化に向けた橋梁の合理的な地震対策決定プロセスの構築 | 石橋 寛樹（日本大学 工学部 土木工学科） | 越村 俊一（災害ジオインフォマティクス） | | |
| A-6 | 11:30 | 11:50 | 近代と現代の町の豪雨災害リスクと居住空間特性の評価 | 鈴木 温（名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科） | 森口 周二（計算安全工学研究分野） | | |
| A-7 | 11:50 | 12:10 | 震災時避難所空間構造物の構造被害リスクの定量的評価スキーム | 鈴木 敦詞（東北大学大学院 工学研究科 都市・建築学専攻） | 大野 晋（地震工学研究分野） | | |
| A-8 | 12:10 | 12:30 | 災害レジリエンス構築に資する被災地医薬品ニーズの定量化 | 越智 小枝（東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座） | 江川 新一（災害医療国際協力学分野） | | |

12:30 13:30 昼休憩

| セッションA：午後（1） | | | 災害情報キュレーション研究領域 | | 司会者：永田 彰平（災害レジリエンス共創センター） | | |
|--------------|-------|-------|---|--------------------------------|----------------------------|--|--|
| ID | 時間帯 | 発表課題名 | 発表者（所属先） | 所内共同研究者（分野） | | | |
| A-9 | 13:30 | 13:50 | 災害・防災情報検索リテラシーのためのワークショップの開発と効果検証 | 齋藤 玲（東北大学 災害科学国際研究所） | 齋藤 玲（認知科学研究分野） | | |
| A-10 | 13:50 | 14:10 | 地域自然災害アーカイブのためのプラットフォームの構築 | 小山 真紀（岐阜大学環境社会共生体研究センター） | 柴山 明寛（災害文化アーカイブ研究分野） | | |
| A-11 | 14:10 | 14:30 | 震災アーカイブとしての災害・防災絵本の分析と翻訳を通じた経験と教訓の国際発信 | Maly Elizabeth（東北大学 災害科学国際研究所） | Maly Elizabeth（国際研究推進オフィス） | | |
| A-12 | 14:30 | 14:50 | 災害時における文化遺産救済を目的とした文化遺産マップの構築および活用の研究 | 鈴木 比奈子（専修大学 文学部） | 蝦名 裕一（災害文化アーカイブ研究分野） | | |
| A-13 | 14:50 | 15:10 | 震災アーカイブ学習のRX検索システムの追加機能の開発、学習効果の検証とメカニズムの解明 | 齋藤 玲（東北大学 災害科学国際研究所） | 齋藤 玲（認知科学研究分野） | | |

15:10 15:20 休憩

| セッションA：午後（2） | | | 人流データを活用した社会動態の解明に関する研究 | | 司会者：堀合 紳弥（レジリエンス計画研究分野） | | |
|--------------|-------|-------|-----------------------------------|----------------------------|-------------------------|--|--|
| ID | 時間帯 | 発表課題名 | 発表者（所属先） | 所内共同研究者（分野） | | | |
| A-14 | 15:20 | 15:40 | 人流データの時系列変動分解に基づく災害レジリエンス情報の検出と比較 | 山口 裕通（金沢大学 理工研究域 地球社会基盤学系） | 奥村 誠（レジリエンス計画研究分野） | | |
| A-15 | 15:40 | 16:00 | モバイル空間統計に基づく集客施設別の混雑と遊休の地域間比較 | 塚井 誠人（広島大学大学院 先進理工系科学研究科） | 奥村 誠（レジリエンス計画研究分野） | | |

16:00 16:10 休憩

| セッションA：午後（3） | | | NTT共同ビジョン共有型共同研究 | | 司会者：今村 文彦（津波工学研究分野） | | |
|--------------|-------|-------|------------------------------|-----------------------|-----------------------|--|--|
| ID | 時間帯 | 発表課題名 | 発表者（所属先） | 所内共同研究者（分野） | | | |
| A-16 | 16:10 | 16:30 | 豪雨災害対応の意思決定のためのデジタルモデルに関する研究 | 森口 周二（東北大学 災害科学国際研究所） | 森口 周二（東北大学 災害科学国際研究所） | | |
| A-17 | 16:30 | 16:50 | 次世代避難の在り方に関する研究 | 藤井 進（東北大学 災害科学国際研究所） | 藤井 進（東北大学 災害科学国際研究所） | | |

ホールB (ホールBでの発表は、11:10から16:00までとなります)

Zoom会場B

1人あたり20分(発表13分, 質疑応答5分, 準備2分)

| セッションB: 午前 (1) | | | 司会者: 氏名(所属先) | | |
|----------------|-------|-------|--|---|------------------------------|
| ID | 時間帯 | 発表課題名 | 発表者(所属先) | 所内共同研究者(分野) | |
| | 9:40 | 10:00 | | | |
| | 10:00 | 10:20 | | | |
| | 10:20 | 10:40 | | | |
| | 10:40 | 11:00 | | | |
| | 11:00 | 11:10 | 休憩 | | |
| セッションB: 午前 (2) | | | 司会者: 林 宏典 (災害感染症学分野) | | |
| ID | 時間帯 | 発表課題名 | 発表者(所属先) | 所内共同研究者(分野) | |
| B-1 | 11:10 | 11:30 | 放射線災害被災者に対する無散瞳白内障検査技術の開発とその検証 | 盛武 敬 (量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所) | 千田 浩一 (災害放射線医学分野) |
| B-2 | 11:30 | 11:50 | 染色体異常を指標とした原子力災害時の健康影響におけるレジリエンス | 三浦 富智 (弘前大学 被ばく医療総合研究所) | 鈴木 正敏 (災害放射線医学分野) |
| B-3 | 11:50 | 12:10 | 災害シミュレーションを用いた行動実験パラダイムの開発を通じた災害後協力とウェルビーイングの実験的検討 | 今田 大貴 (Royal Holloway, University of London) | 齋藤 玲 (認知科学研究分野) |
| B-4 | 12:10 | 12:30 | 防災意識と関連するパーソナリティの探索: 地域愛着性に着目して | 齋藤 玲 (東北大学 災害科学国際研究所) | 齋藤 玲 (認知科学研究分野) |
| | 12:30 | 13:30 | 昼休憩 | | |
| セッションB: 午後 (1) | | | 司会者: 原 裕太 (2030国際防災アジェンダ推進オフィス) | | |
| ID | 時間帯 | 発表課題名 | 発表者(所属先) | 所内共同研究者(分野) | |
| B-5 | 13:30 | 13:50 | 原発事故でサクラ樹皮に付着したセシウム汚染の回復 | 杉浦 広幸 (福島学院大学短期大学部) | 千田 浩一 (災害放射線医学分野) |
| B-6 | 13:50 | 14:10 | 災害時における大都市の時間避難行動の分析 | Sunkyung Choi (Tokyo Institute of Technology) | 奥村 誠 (レジリエンス計画研究分野) |
| B-7 | 14:10 | 14:30 | 仙台防災枠組におけるグローバル指標の更なる社会実装に向けて: インドネシア・アチェを事例に | 佐々木 大輔 (東北大学 災害科学国際研究所) | 佐々木 大輔 (2030国際防災アジェンダ推進オフィス) |
| B-8 | 14:30 | 14:50 | セクシュアルマイノリティの災害レジリエンス向上のための基礎研究 | 松川 杏寧 (兵庫県立大学大学院 災害復興政策研究科) | 北村 美和子 (国際研究推進オフィス) |
| B-9 | 14:50 | 15:10 | 「人はなぜ防災行動を取らないのか?」 | 中鉢 奈津子 (東北大学 災害科学国際研究所) | 中鉢 奈津子 (広報室) |
| | 15:10 | 15:20 | 休憩 | | |
| | 15:10 | 15:20 | 休憩 | | |
| セッションB: 午後 (2) | | | 司会者: 佐々木 大輔 (2030国際防災アジェンダ推進オフィス) | | |
| ID | 時間帯 | 発表課題名 | 発表者(所属先) | 所内共同研究者(分野) | |
| B-10 | 15:20 | 15:40 | 五島列島におけるキリシタン集落の形成・立地と災害リスク評価に関する研究 | 原 裕太 (東北大学 災害科学国際研究所) | 原 裕太 (2030国際防災アジェンダ推進オフィス) |
| B-11 | 15:40 | 16:00 | Web GISを活用した学校教員向けリスクコミュニケーション手法の高度化〜学区の災害リスクの理解に基づく実践的な避難計画の社会実装に向けて〜 | 桜井 愛子 (神戸大学大学院国際協力研究科) | 佐藤 健 (防災教育実践学分野) |